



地域全体で、お盆を

8/14 比曽地区盆おどり大会



▲「こんな思い出もあったね」となつかしそうな表情を見せる比曽地区のみなさん

比曽地区では、盆踊り実行委員会（上1組、上2組）主催の「比曽地区盆踊り大会」が比曽公民館前庭で開かれました。盆踊りに加え、今回はじめて、お盆本来の「祖先の霊を祀る」行事を地域全体で行おうと、この3年間に亡くなった故人の在りし日の写真上映を行い、ひとり一人の思い出を紹介した後、黙とうを捧げました。

「地域のみんなに思い出してもらえることが、一番の供養」と話す故人の家族もおり、写真が映し出されるたびに、なつかしそくに思い出を語る姿も見られるなど、地域全体で故人をしのんでいました。比曽地区では、「今後も、7回忌や13回忌などにあたる故人をみんなでしのんでいきたい」と、話していました。

ごころの ぽけっと

昔ことばの「しつけ」

近頃、若い方の靴の脱ぎ方が気になりました。こんなことが気になりだしたという話は、年をとったということかもしれません。

私たちは、「靴は、一旦脱いで上がってから振り返り、自分で靴の向きを変えてそろえるのがマナー」と教えられたような気がしますが、今では前向きのままの方が多そうですね。靴のかかとをつぶしてはいている方にも、ちよつと違和感を覚えます。

以前、小学生の合宿通学で、「まず、脱いだスリッパをそろえることからスタート」と大声をあげていた元教育長の神長さんが懐かしく思い出されます。

「靴を脱いだら、揃えなさい」を始め、昔から日本で言いつくされた言葉が死語になりつつあるのが、残念であり、古い

という理由だけで忘れ去ってしまうのは、あまりにももったいない気がしてなりません。

「誰が見てなくともお天道様がみているよ」「よその家の電気がついていたら帰らなさい」「ご飯粒を残したら目がつぶれるよ」「大人の話を首を突っ込むものはありません」「ものを粗末に扱えば罰があたるよ」「歩きながらものを食べてはいけません」「ウソつきは泥棒の始まりだよ」「弱いものはじめはひきよう者のすることだ」「困ったときはお互い様」等々、ちよつとした言葉で子どもをしつけをしていた親や大人たちがいたような気がします。

今日のように、自分勝手な人ばかりが目立つ殺伐とした社会を住みよくしていくには、昔の日本人が営々として築いてきたものの中から、良いものを拾い上げるといような機運を村の中に作ることも必要ではないでしょうか。

「親の顔が見たいもの」と世間の人々から言われないようにとの思いが親には必ずあります。しつけは「躾」と書きます。身を美しくです。やってみせるに勝る「しつけ」はないようです。

平成21年8月25日

飯館村長 菅野 典雄

8/1~8/3 飯樋地区活性化事業 農家に泊まろう!!



▲自然の中で川遊びを楽しむ参加者

飯樋4行政区では、飯樋地区の振興策の一つとして、都市住民との交流事業を検討してきましたが、今回、村アドバイザーの佐川旭さんの紹介で、千葉県松戸市にある「きれいなたね」と田舎体験ツアー「農家に泊まろう!!」田舎・自然体験の夏物語3日間」を実施しました。4家族が参加し、カブトムシ採りや夏野菜の収穫、どろんこ魚つかみ、柏もち作りなどを体験しました。

参加した家族は、「自然を満喫できました」「村の方々は、親せきのように気軽に接してくれました。田舎ができたみたいでうしろ」と感想を述べていました。とても好評だったため、来年度以降も継続して実施する予定です。



▲「本当に親せきの家に来たみたいです」

この事業は、「福島県電源地域振興・原子力等立地地域振興支援事業」の助成を受けて実施しました。

誕生おめでとう

赤ちゃんのなまえ	親の氏名	行政区
細川 歩夢くん	勉・尚美	伊丹沢
山田 ゆりちゃん	忍・里美	関根・松塚

すくすくと元気に育ってね

結婚おめでとう

氏名	行政区
志賀 博 到	萩 平
葉 尊 優 子	宮城県白石市

いつまでもお幸せに

おくやみ

氏名	年齢	行政区
鹿山 七郎	86	深谷
花井 貞雄	90	伊丹沢
木幡 利夫	58	小宮
佐藤 善治	89	関根・松塚
須藤 勝幸	49	比曽
菅野 コト	86	長泥
佐藤 昭子	82	比曽
赤石澤 一男	80	飯樋

ご冥福をお祈り申し上げます

(7月21日から8月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。



ひとのうごき

(平成21年7月1日現在)

人口	今月 (前月比)	昨年同期
男	3092人 (-7人)	3213人
女	3091人 (-4人)	3256人
計	6183人 (-11人)	6469人
世帯数	1713戸 (+1戸)	1698戸

◆7月1日~31日までの人口動態◆			
転入	9人	転出	12人
出生	1人	死亡	9人

(平成17年国勢調査に基づき増減された現住人口)